みちのく未来通信

2018年1月
第18号

公益財団法人 みちのく未来基金
〒980-0022
宮城県仙台市青葉区五橋２丁目４番１号
エクセルジオ五橋５F
電話番号 022 (724) 7645　FAX 番号 022 (724) 7646
E-mail　info@michinoku-mirai.org
HP　http://michinoku-mirai.org/

新しい方が理事に就任しました



カルビー株式会社
代表取締役社長 兼 COO
伊藤　秀二

私は、福島県の出身という事もあり、基金の立上げの時から関わってきました。改めて理事として活動していきます。



カゴメ株式会社
代表取締役社長
寺田　直行

震災時は営業の責任者として復旧に奔走しました。震災遺児のために継続して力になりたいと考えています。

新しいスタッフです



業務執行理事
竹中 俊之（たけじい）

１年半振りに復帰致しました。大好きな東北でやりがいのある仕事を、またさせていただくことに感謝いたします。
温泉とスポーツのことはお任せください。



武田 康嗣（やす）

昨年 10 月、カゴメ㈱からきました。
事務局として、奨学金や寄附金の管理をしています。
美味しいものも食べつつダイエットにも励んでいます。
基金の業務が円滑に進められるよう頑張ります！



第７期スタッフメンバーです。
お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

＜長沼代表理事あいさつ＞

みちのく未来基金
代表理事　長沼 孝義



みちのく未来基金の支援活動は７年目を迎え、これまで６３８人が進学の夢を果たしており、そのうち約３００名が既に社会人として活躍しています。沢山の子どもたちの夢が実現できるのも、サポーターの皆様の温かいご支援のお陰です。まだまだ長い活動になりますので、引き続きご支援を宜しくお願い申し上げます。

第6期（2016年10月～2017年9月）決算報告

前期繰越額	1,483,144,454
当期寄附金総額	612,798,031
受取利息	29,000
収入合計	2,095,971,485
奨学金給付費用	331,761,420
奨学生交流費用	11,908,571
運営管理費用	28,216,513
費用支出合計	371,886,504
収支差額	1,724,084,981
次期繰越額	1,723,943,160

単位：円

基金設立以来総額３３億円を超えるご支援をいただき、６年間で計６３８名の進学を支援してまいりました。
第７期については２０１８年３月に９７名が卒業予定ですが、第７期生の進学希望者が１０２名となるため、第７期の給付者数は最大で３４１名となり、給付予定額は約３.９億円になる見込みです。
詳細な財務報告は基金のホームページをご覧ください。
引き続き、皆様からのご支援を宜しくお願いします。

皆様からのご寄附は、すべて震災遺児の学費として使わせていただいています。

※奨学生交流費用と運営管理費用についてはスタッフ派遣企業４社の寄附金で賄っております。

■ご寄附方法　「銀行振込」「クレジットカードによる引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

- 七十七銀行　店舗コード：本店 100　普通預金　口座番号 7951345
- 三菱東京 UFJ 銀行　店舗コード：仙台支店 314　普通預金　口座番号 0271354
- ゆうちょ銀行　ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込　記号 18150　番号 27549411
- 他銀行からゆうちょ銀行へのお振込　店名　ハ一八　店番 818　普通預金　口座番号 2754941
- 共通　口座名義　公益財団法人　みちのく未来基金
- 共通　口座カナ名義　ザイ）ミチノクミライキキン

＊上記のいずれかの口座にお振込みください。（お振込みには手数料がかかります）　＊受領証発行ご希望の場合は、お電話・FAX もしくは E-mail にて送付先をご連絡ください。

- クレジットカードによるご寄附の場合　ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。　みちのく未来基金　検索
- 現金書留によるご寄附の場合　郵便局から、当基金宛てに直接現金書留にてご郵送ください。
- 銀行口座引き落としによるご寄附の場合　口座がある金融機関にお問い合わせください。

≪支援企業・団体≫　５年以上継続で累計５百万円以上もしくは単年で１千万円以上のご寄附をいただいている企業・団体（五十音順）

（株）アール・アイ・エー / （株）アイ・エム・コーポレーション / 旭精工（株）/（株）足立音衛門 / アトム（株）/（株）アンズコーポレーション /（株）一如社 / 岩井機械工業（株）岩瀬コスファ（株）/ エムスリー（株）/（株）大木 /（株）O２（オーツー）/ 化成工業（株）/（株）カナエ /（株）関電工 / キヤノンマーケティングジャパン（株）/（株）協和（株）国元商会 / コクヨ東北販売（株）/ 小菅（株）/（株）サナス / 三省製薬（株）/ 山陽技研（株）/ 三和工業（株）/（株）CDG / CKD（株）/（株）ジェーシービー スターバックス コーヒー ジャパン（株）/ 住友不動産（株）/（株）世界思想社教学社 / ソニーネットワークコミュニケーションズ（株）/ 大地みらい信用金庫 /（株）宅都ホールディングス（株）タナカ /（株）タマディック /（株）土金 /（株）ツルハグループドラッグ＆ファーマシー西日本 / 電鉄通商（株）/ 東洋ビューティ（株）/（株）東和コーポレーション（一財）戸沢暢美財団 /（株）トレンディ / 日進工具（株）/（一社）日本少額短期保険協会 / 日本臨床口腔外科医会 / 熱研プラント工業（株）/（株）ノーリツ /（株）ハウスメイトパートナーズ（株）ピー・アンド・イー・ディレクションズ /（株）ビューティーネイラー /（株）ファミリーマート /（株）ファンケル /（株）フィールコーポレーション / フクダ電子（株）フクビ化学工業（株）/（株）フクヨー /（株）不二興産 / 不二製油グループ本社（株）/ 富士ゼロックス（株）/ BLEA / 北陸朝日放送（株）/（株）ホスピタリティエージェント（株）北海道新聞社 /（株）丸山珈琲 / 三菱自動車 STEP 募金 / 宮川興業（株）/（株）三好不動産 / 未来航路（株）/（株）ヤオコー /（株）薬王堂 / 八千代電設工業（株）ユニー（株）/ ユニ・チャーム（株）/ ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング（株）/（株）Reach for the stars /（株）ワイ イー エス / 医療法人社団 和幸会

≪後援企業・団体≫（五十音順）

秋保リゾートホテルクレセント /（株）秋元技術コンサルタンツ / 五十嵐 ICT プロモーション / 岩手日報社 / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 学校法人東北工業大学 なぎさ社会保険労務士事務所 / 宮城第一信用金庫

≪スタッフ派遣企業≫

ロート製薬（株）/ カルビー（株）/ カゴメ（株）/ エバラ食品工業（株）

ご協力いただいている全ての皆様に感謝いたします。

Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

「年に一度の約束」年次面談を実施しました！

みちのく未来基金では、年に一度みちのく生と基金スタッフが直接会い、面談することを約束しています。スタッフにとっては、みちのく生たちの様子を直に知ることができる機会であり、子どもたちに会えることをとても楽しみにしています。今年も東京、盛岡、仙台の３会場で１０月から１２月にかけて３３０名のみちのく生との面談を実施しました。サポートスタッフには、みちのく生のお迎えや、書類記入の説明などのお手伝いをしてもらいました。年次面談が初めての６期生は、面談後には緊張もほぐれ、待合室での雰囲気にすっかり溶け込んでいるようでした。



盛岡会場面談







東京会場面談













仙台会場面談







みちのく生の今 ～年次面談より～



５期生男子　H.S さん
（宮城県・大学）

静岡の大学で電子工学を学んでいます。部活は自動車部に入り、自動車整備やスポーツ走行など、日常では触れられない車の魅力を感じています。夏の全国大会とイベントでは、鈴鹿サーキットで走る機会もあるので、そこを目指して活動しています。今後は大学院への進学を目指し、卒業後は地元仙台に戻り就職したいです。



自動車部での走行風景



専門学校で音響に関係することを学んでいます。学校で「興行企画」を体験した際は大変で苦労しましたが、やりがいを感じました。今ここでしか学べないことがたくさんあって、とても充実しています。身に付けたことを活かせる職業につきたいと思っています。



６期生女子　K.K さん
（宮城県・専門）



５期生女子　N.T さん
（福島県・大学）

２年生後半に入り、演習が増えたりゼミの面接が始まったりして、勉強がより一層大変になってきました。でも、演習で自分の考えや企画を先生や大勢の人に発表する機会に恵まれ、とても充実しています。今はオープンソースを活用したアプリケーションの提案を頑張っています！



６期生女子　M.O さん
（兵庫県・大学）

昔から絵が好きだったので、大学では美術を学んでいます。動物（特にキツネ）の絵を描くことが好きですが、最近はサークルで障がい者スポーツのボランティア活動も行っています。楽しく充実した大学生活を送っています。



課題で作った自画像

理事交代にあたって　カルビー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO 松本（まつもと） 晃（あきら） 様



震災が発生した 2011 年３月 11 日はカルビー株式会社の株式上場の日でした。
発生当時は記者会見の控室にいたのですが、直後部屋の外に出てみると照明が落下しており、地震の大きさを物語っていました。その後、テレビの報道などを見て想像もつかないほどの事が起きたのだと感じました。
すぐに本社へ戻り、危機管理委員会を立ち上げ、自社の被害の状況や対応などを早急に進め現地での被害状況を見るにつれ、被災にあわれている方々はあの寒さの中どう対応をされているのかとても心配でした。
そんな中、ロート製薬の山田会長から弊社の長沼（現みちのく未来基金代表理事）さんへ基金立ち上げの提案があり、即座に賛同しました。
そして、ロート製薬・カゴメ・カルビーによってこの「みちのく未来基金」を立ち上げ現在にいたります。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」と言いますが、忘れてはいけないこの基金を作ってもらえた事は本当に感謝しています。当時を振り返ると、山田会長と長沼さんたちの強力なリーダーシップがあってこそ立ち上げられた基金だと思っています。
そして、子どもたちの人生のバックアップに少しでもなるならそれ以上のことはないと思います。幸せになっていって欲しいと心から願っています。皆さんの夢の実現に向け「みちのく未来基金」がその役に立っているのであれば、これ以上の喜びはありません。

面談で聴いた、みちのく生の様子をご紹介します。



６期生女子　M.O さん
（宮城県・短大）

岩手県内の学校で建築を学んでいます。祖父と父が工務店を営んでいた影響で、建築を学びたいと思い進学しました。今は木材加工の技術などを勉強しています。将来は地元に戻り、建築の仕事に携わりたいと考えています。



グループ製作の作品



６期生女子　Y.J さん
（岩手県・大学）

４月から東北大学工学部の大学院に進みます。今通っている大学では授業と電気自転車のモーターを研究するサークル活動で忙しい４年間でしたが、基金のイベントにも積極的に参加して先輩や後輩との交流を楽しみました。また２年間大学院でお世話になりますが、宜しくお願いします。



３期生男子　S.S さん
（宮城県・大学）

進学した最初の２ヶ月は新しい環境に馴染めず、また、親元を離れた生活でホームシックになりました。６月くらいから新しい友達ができて、今は毎日楽しい学生生活を送っています。ただし、キャンパスが丘の上にあり、バス停から上り坂 10 分の通学がけっこう大変です。



６期生男子　S.S さん
（岩手県・大学）

以前から大型動物が好きで、将来は動物に関わる仕事をしたいと思い、獣医の勉強をしています。放課後はバレーボールやバスケットボールなどの球技をするサークル活動や、毎日の通学で乗っているロードバイク（自転車）で楽しんでいます。

将来は自分の薬局を持ちたいと思い、大学では薬学の勉強をしています。勉強する科目が多く毎日大変ですが、サークルでは薬用植物部と準硬式野球部に所属し、学生生活を楽しんでいます。



４期生男子　R.K さん
（岩手県・大学）

サポーター紹介　宮川興業株式会社 代表取締役社長　宮川（みやがわ） 訓（さとし） 様

宮川興業株式会社は、路面標示などの交通安全施設や環境整備を手掛ける総合建設企業で、継続してのご寄附とともに集いにも毎年ご出席いただいています。渋谷の本社をお訪ねし、宮川社長にインタビューさせていただきました。



震災直後は３県に寄附を行ないましたが、長く続ける活動を応援したいと思い、みちのく未来基金にたどりつきました。「震災当時お腹にいた子が卒業するまで」の趣旨に共感し、活動のゴールが明確になっていることが、とてもよいと感じて支援を決めました。

集いに参加することで大きな刺激をいただいており、最近は若手の社員も出席しています。そのレポートは全社に回覧していますが、まさに「百聞は一見にしかず」で、会社がなぜこの活動を支援しているのかを改めて認識し、得難い人生経験となっているようです。

また、毎年手作りのよさを実感しており、みちのく生同士が深いところでつながっていることがひしひしと伝わってきますね。若い人が夢を達成するために学ぶことはとても大切であり、進学支援には大きな意味があると思います。



「みちのく生の皆さんに」
一人ひとりが自分の個性を大切に、目標に向かって着実に進んでいってほしいと思います。当然、壁にぶつかることもありますが、無理することなく周囲の学生さんと同じ気持ちで、気負うことなく一つひとつ乗り越えていってください。